

# 「恋人の聖地」に認定

## 県内初「サテライト」LED、雰囲気華麗

堂(福井市高木中央3丁目)を本県で初めて認定した。14日夜、授与式と記者会見が行われた。

堂(福井市高木中央3丁目)など全国123カ所を認定してきた。また、全国36カ所をサテライトとして認定している。

「恋人の聖地」は少子化対策や地域活性化対策として、2006年から同NPO法人が展開。公共性の高い風光明媚な場所を中心に、本県のレイソールライン山頂公園(若狭町、美浜町)、北陸自動車道杉津PA(敦場)メゾンドブランシュ

ローズガーデン」と合わせて、約10万個の発光ダイオード(LED)でライトアップしており、地域活性化やロマンチックな雰囲気づくりに力を注いだ点が認められた。結婚式場の認定は全国3件目。

会場で、同NPO法人理事の桂由美さん(ユミカツラインターナショナル社長)は「チャペルの祭壇横に新郎新婦の両親の席を設けるなど、キリスト教式の本来の姿を細部にまで表現した式場。婚姻率が伸び悩む中、若者が結婚にあこがれを持つ

てる場になってほしい」と述べた。岩本社長は、約1万6千個のLEDライトでライトアップされた並木と噴水がある同大聖堂の庭園を、今春をめぐりに一般開放し、プロポーズの場に役立てたいと話している。



「恋人の聖地サテライト」に認定されたロイヤルグレース大聖堂の庭園。14日夜、福井市高

木中央3丁目

プロポーズにふさわしい「恋人の聖地」を認定するNPO法人地域活性化支援センター(本部静岡市)は、一般企業が運営展開する「恋人の聖地サテライト」に、結婚式場「ロイヤルグレース大聖